

□ トピック □ 暗闇に潜む厄介な動物

倉庫やご家庭の軒、天井裏など、高所の隙間から糞が落ちてきて、真下に堆積していたり、壁が汚れていたりする場合にはコウモリが侵入しているかもしれません。コウモリの糞はハツカネズミのものと見た目が似ているため(径1.5~2mm、長さ5~10mm)、ネズミが屋内にいると勘違いしてしまうこともあります。

コウモリは日本では2亜目5科13属38種が生息しており、日本産陸棲哺乳類の中では種数が最も多い分類群です。中でも、一般家庭でよく見受けられるのはイエコウモリ(別名: アブラコウモリ)という種類です。

その被害事例として、物音、鳴き声、糞による汚染、悪臭、ダニや虫の発生などがあります。また、ヒストプラズマ症(発熱、倦怠感、筋肉痛などの症状)も媒介します。

コウモリは、生態を十分把握しておかないと、なかなか防除することはできません。怪しいと思われる痕跡がありましたら気をつけてください。



壁の隙間から落とされるコウモリの糞による汚損被害



コウモリの糞

□ お知らせ □ コウモリ防除は手際よく



コウモリが生息している隙間



隙間閉塞施工中

コウモリ防除を行う上で、一番重要なのは「建屋内に侵入させないこと」です。イエコウモリは日没後10~30分(5月~9月にかけては日没後12分頃)に出巢をし、採餌のために2~3時間住家を空けるとされます。また、燻煙剤やスプレー剤などを用いると一時的にコウモリを住家から強制的に追い出すことができます。その隙に出入口を塞ぐことが、最も確実な方法です。しかし、雨が降り始めたりすると急いで帰ってくるので、天気には注意が必要です。一方、捕獲等の駆除を行う場合には、コウモリは鳥獣保護法によって保護されているため、市役所などの関係官庁に許可を得なければなりません。

施工をするにあたっては、その生態から高所の作業となることが多く、危険を伴うことも予想されるので、自ら予防をするのではなく、コウモリの知識を持った専門業者にお任せすることをお勧めします。弊社では閉塞施工等を行っておりますので、お気軽にご相談ください。

□ 豆知識 □ 人命救助犬ならぬ、人命救助ネズミ！！

カンボジアの地中に埋まった地雷の探知に、「アフリカオニネズミ」が大活躍しているという記事が掲載されました(ロイター通信2015年7月15日)。カンボジアでは現在も大量の地雷が地中に埋設されており、その除去は手作業で慎重に行われ、戦争が終わった今も先が見えない地雷との戦いが続いています。

アフリカオニネズミはサブサハラ、アフリカなどに生息し、体長が25~45cm、体重が1~1.5kgとなる大型のネズミです。あまり知られていませんが、ネズミはイヌよりも嗅覚に優れていると言われており、訓練を行うことで爆発物の臭い(TNT火薬)をかぎ分けることができ、金属探知機を使用して数日かかった作業を、わずか数時間で終わらせることができるそうです。また、ネズミは体重が軽いため地雷を爆発させる危険性が低く、従来より費用も抑えて作業ができるという利点もあります。

ネズミ類には被害をもたらす種もいて嫌がられますが、一方で商品開発や安全試験などで活躍しているものもいます。今後もヒトとネズミには密接な関係が続くのでしょうか。



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山
関東(市川)